

専門教育科目	演習科目	受講料	6,000円		
科目名:	健康につながるオーラルケア		科目コード	HH80	
科目主査:	永山 正人	担当講師:	永山 正人	単位	2
				配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク:	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク:	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>オーラルケア（虫歯予防、歯周病予防、抜歯予防、オーラルフレイル、誤嚥予防等）は、健康寿命の延伸に重要です。またオーラルケアは、全身疾患予防に重要で有るばかりでなく、社会生活の健全化、仕事の能率向上にも必要です。この講義では、オーラルケアのPDCAサイクルアプローチも含め、オーラルケアの正しい知識と技術を習得して頂くことを目的とします。同時に、新しい歯科医療の最新情報提供と口腔と心の関係（サイコサイバネテック）にも言及したい。但し、教科書中、実施において医師・歯科医師等の専門家の指導下で行う必要がある部分は除外して講義します。</p>					
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:			
履修の前提となる知識 その他特記事項	オーラルケアに関する本を読んでおくと授業を受けやすくなります。				
テキスト	『口腔機能の維持・向上による全身状態改善のためのオーラル・マネジメント実践マニュアル』別所 和久 監修／奥田 聖介・武井 典子 編著，医歯薬出版，2010年 及び当日配布の資料 ※テキストはスクーリング受講許可者に送付します。				
この科目の到達目標	<p>①全身の健康管理にオーラルケアが必要であることを理解し、その方法を十分身に付けることにより、社会生活の健全化、仕事の能率向上を期待することができます。</p> <p>②う蝕、歯周病、咀嚼、嚥下に関する基礎知識を身に付けることにより、誤嚥性肺炎等の予防にオーラルケアの重要性を理解することができます。</p>				
成績評価の方法	<p>①健康とオーラルケアに関する基本的知識の理解度をみます。</p> <p>②オーラルケアの方法論についての理解度、応用能力についてみます。</p>				
事後学習	健康とスポーツ、医療福祉経営論、医療における人の心理と行動、医療・福祉心理学等の科目を学習すると良いと思います。				
事後学習の参考文献	<p>『改訂版 口腔ケア基礎知識』（一社）日本口腔ケア学会、永末書店、2017年</p> <p>『患者を知るための心理学』海保博之ほか、福村出版、1987年</p> <p>『口腔ケアのABC QOLのためのポイント110』河合 幹ほか、医歯薬出版、1999年</p> <p>『患者さんのためのオーラルフレイルと口腔機能低下症の本』菊谷 武、医歯薬出版、2018年</p>				
スクーリング受講時に用意するもの					
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 手鏡 <input checked="" type="checkbox"/> 歯ブラシ <input checked="" type="checkbox"/> 爪楊枝1本 <input checked="" type="checkbox"/> ティッシュペーパー（数枚） <input checked="" type="checkbox"/> 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 <input checked="" type="checkbox"/> 学生証					